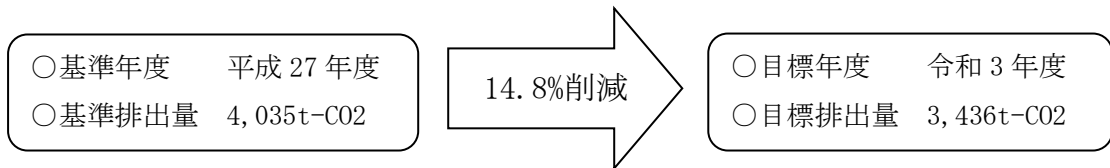


平成30年度清瀬市温室効果ガス排出量調査結果について

平成28年度に策定した「清瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」では平成29年度から令和3年度の5カ年を計画期間として、基準年度である平成27年度に対し令和3年度までに温室効果ガスの排出量を14.8%削減することを目標として掲げており、市が行う事業活動における省エネルギー化、温室効果ガス排出量削減に取り組んでいるところです。

平成30年度についても、引き続き本計画に基づく目標達成に向けた取組みの実施状況を把握するため、温室効果ガス排出量に関する全庁的な調査を行ったので、その結果について以下にまとめました。

【 実行計画による温室効果ガス削減目標 】



【 調査の概要 】

(1) 調査対象

市の全事務事業（指定管理者制度導入施設を含む）を対象とする。

(2) 調査対象年度

平成30年度

(3) 調査対象ガスと調査項目

調査対象ガス	排出要因	調査項目
二酸化炭素 (CO2)	電気・燃料の使用	電気・燃料の使用量
メタン (CH4)	公用車の走行	公用車の走行距離
一酸化二窒素 (N2O)	公用車の走行	公用車の走行距離
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	カーエアコン冷媒の漏洩	カーエアコンの台数

【 調査結果 】

(1) 平成 30 年度総排出量

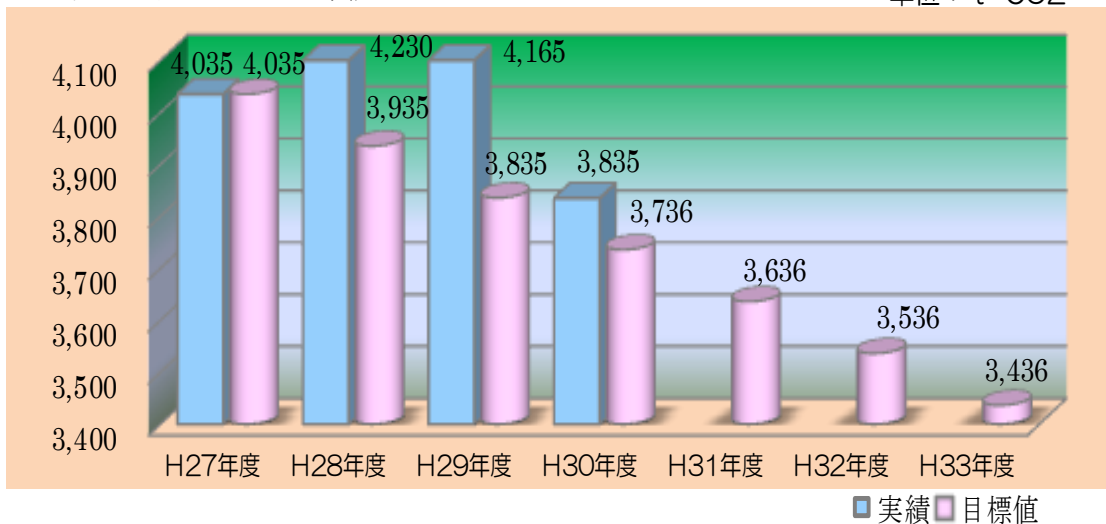
実施した調査の結果を集計したところ、平成 30 年度の総排出量は 3,835t-CO₂ となり、前年度の総排出量 4,165t-CO₂ に対し 7.9%の減となりました。

(2) 目標値との比較

実行計画での削減目標は、基準年度から計画最終年度の平成 33 年度までに温室効果ガス排出量を 14.8%削減することとしていますが、目標年度まで均等に排出量を削減すると仮定した場合、平成 30 年度の目標値は 3,736 t-CO₂ となりますが、調査結果では 3,835t-CO₂ と目標値を 99 t-CO₂ 超えており、昨年度の実績からは 7.9%削減しているものの、目標値には達していない結果となりました。

各年度の排出量と目標値

単位：t-CO₂

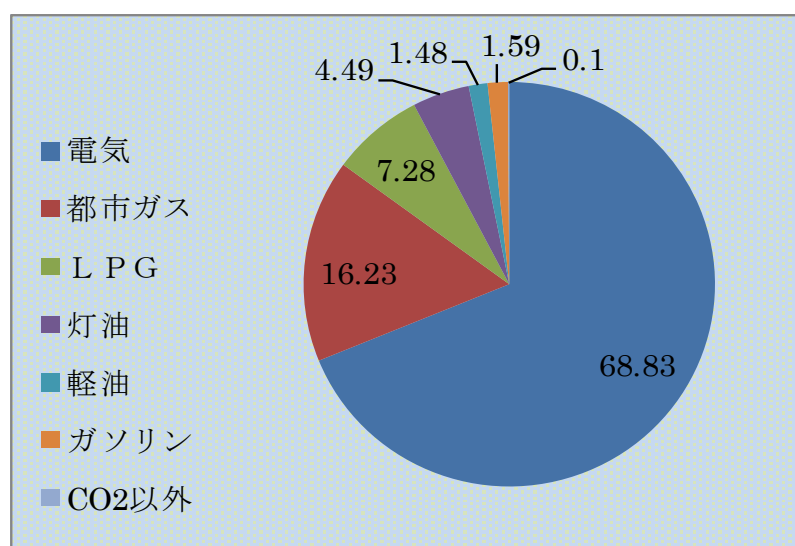


(3) 要因別排出量

排出要因別の排出量では、全体の構成比は例年と変わりなく。電気(68.83%)と、都市ガス(16.23%)の2項目で排出量全体の大部分を占め、この2つの要因について、排出量を抑えていく事が全体の排出量削減に向けて大きく影響すると考えられます。

要因	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		
	排出量 t-CO2	構成比	排出量 t-CO2	構成比	排出量 t-CO2	構成比	
CO2	電気	2,984.28	70.5%	2,902.73	69.7%	2,640.27	68.83%
	都市ガス	572.33	13.5%	634.21	15.2%	622.31	16.23%
	LPG	336.62	8.0%	300.71	7.2%	279.18	7.28%
	灯油	208.69	5.0%	197.63	4.7%	172.31	4.49%
	軽油	59.06	1.4%	61.36	1.5%	56.78	1.48%
	ガソリン	65.44	1.5%	65.64	1.6%	60.81	1.59%
CO2 以外	CH4	0.13	0.1%	0.11	0.1%	0.11	0.1%
	N2O	2.74		2.26		2.40	
	HFC s	1.15		1.15		1.20	
合計	4230.04	100.0%	4165.80	100.0%	3835.37	100.0%	

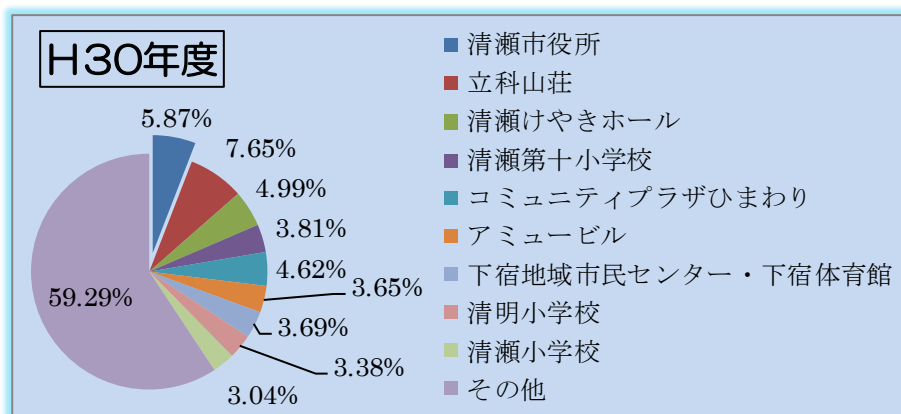
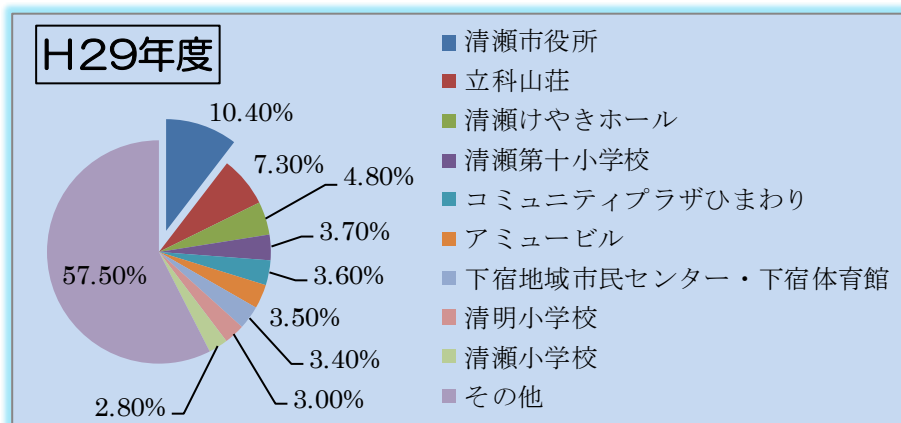
排出要因別の構成比（平成 30 年度）



(4) 施設別温室効果ガス排出状況

施設別に見ると、清瀬市役所の排出量が 225,304 t-CO₂ と前年度の 435,262 t-CO₂ に対し 209,958 t-CO₂ の減量で、施設単独では 48%程度、全体に対しても 5%程度の削減に成功しています。平成 30 年度より市役所庁舎では契約電気事業者を変更しており、それに伴い温暖化ガス排出量の算定に用いる電気事業者ごとに定められた係数が「0.486」から「0.213」に変更され、それをを用いて算出される排出量に影響したものです。

対象施設	平成 29 年度		平成 30 年度	
	排出量 kg-CO ₂	構成比	排出量 kg-CO ₂	構成比
清瀬市役所	435,262	10.40%	225,304	5.87%
立科山荘	303,368	7.30%	293,402	7.65%
清瀬けやきホール	199,563	4.80%	191,498	4.99%
清瀬第十小学校	151,232	3.70%	146,233	3.81%
コミュニティプラザひまわり	147,596	3.60%	177,062	4.62%
アミュービル	145,540	3.50%	140,174	3.65%
下宿地域市民センター・下宿体育館	141,479	3.40%	141,488	3.69%
清明小学校	126,925	3.00%	129,455	3.38%
清瀬小学校	117,992	2.80%	116,680	3.04%
その他	2,396,891	57.50%	2,274,090	59.29%
合計	4,165,848	100.00%	3,835,386	100.00%



【今後の課題と展望】

昨年度との比較では 7.9%の排出量削減ではありましたが、年度毎の目標値には達しておらず、更なる削減努力が求められるところです。

施設別の排出状況において、市役所庁舎の電気事業者変更の影響により大きな削減が見られ、総排出量の大部分を占める電力使用による排出量を抑制する事で非常に大きな結果を生んだ事が確認できます。

今後は、エネルギー効率の良い機器への設備の更新やソフト面における節電への取組みなどに加え、温暖化ガス排出量がより少ない発電方法により電力供給を行っている電気事業者への契約変更を推進していく事も、削減目標を達成させる為には有効な方法と考えられます。